

本時のねらい

・校区内において、交通事故の危険がある場所を探し、その対策を考える。

本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

・校区内における、事故が起きそうな場所を Google Map を利用して視覚化する。
・オクリンクを利用し、生徒のスライド作成や発表をスムーズに行う。

活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

・ミライシード（オクリンクプラス） ・Google Map ・Microsoft PowerPoint ・Google Classroom

本時で育む主な情報活用能力

D-STEP2, K-STEP3

該当番号の詳細内容は
「大阪府情報活用能力
ステップシート」から確認できます。



本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (10 分)	・本時のめあてを確認する。 ・「校区内の交通事故の危険がある場所を共有し、その対策を考える」 ・前回の授業の確認を行う。提示された写真や説明文から、どのような人的要因と環境要因があるかを考える。 ・それぞれが書いた内容を共有し、前時の復習を行う。	・Google Classroom に本時のめあてや流れを示し、いつでも確認が可能な状態にしている。
展開 (35 分)	・校区内の危険な場所をリストアップし、どのような危険があるか、また、どのような対策が必要かをスライドでまとめる。 【写真 1】 ・スライド作成については、PowerPoint か、オクリンクプラスのどちらを選んでも良いので、自分自身の判断でより良いものを選択し、3 枚以内にまとめる。 【写真 2】 ・作成する上で、不明な点があれば学習班で確認する。 【写真 3】	・Google Map を使用し、危険と思われる場所や、その周辺のデータを集める。 ・作成するときの注意点（添付する画像の出典先、プライバシーへの配慮等）を確認する。 ・スライドを見た誰もが、調べた場所の危険性や対策が分かるように、航空写真や具体的な道路標識の画像と説明を記載するなどして作成する。
まとめ (5 分)	・次回の授業でプレゼンテーションを行うので、その注意点や流れを説明する。 ・本時の振り返りを行う。	・PowerPoint で作成した場合は、PDF 保存したデータを添付してオクリンクプラスの提出箱に提出する。

1 人 1 台端末を活用した活動の様子



【写真 1】作成したスライドの例



【写真 2】スライドを作成する生徒



【写真 3】学習班で活動する生徒たち

児童生徒の反応や変容

・スライド作成については、PowerPoint か、オクリンクプラスのどちらを選んでも良いことにしていたので、生徒たちが自分に合ったソフトを使って作業することができていた。また、スライドの共有や作成が容易にでき、課題も身近な地域のことであるため、意欲的に学習に取り組む生徒が多かった。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

・交通ルールを理解するうえで、説明のみではあまり理解が進まず、受け身の姿勢になる生徒が多くなりがちだが、校区内で見かける標識の意味や、生活の中で「こうすれば良い」と思うことを生徒たち自身が可視化できるため、主体的に授業に取り組む生徒が多かった。また、作成にあたり、班の中の助け合いが生まれ、自尊感情の向上や、より深いコミュニケーションへとつながることができた。

・スライドの作成にあたっては、単に画像を貼り付けるだけでなく、様々な情報を精選したうえで 1 枚のスライド内に取り入れ、誰が見ても理解できる内容を吟味することを事前に伝えた。